



さあ3学期が始まったばい!!

～教職員メッセージ～



「心遣い」

校長 藤永 直也



風と雨の強い日だった。出勤のために立ち寄ったコンビニ、こんな日は客は誰もいない。弁当を購入するためにレジに進むと、店員の方から「こんな日、大変ですね、お仕事ですか」と優しく聞かれた。このレジの方は私より早く大変ななかこの職場に来て勤務している。自身も大変だったのに、仕事とはいえ客に対する温かい一言が何よりも嬉しかった。いつもは仕事で忙しくされている方だが、そのような優しい気持ちで客を迎えていることに、物だけでなく温かい心を提供していただいたと感じた。

人にはいろいろな会話がある。直接会って話す会話、人を介した会話、ライン、メールでの会話・・・会話を通じて意思や思いが伝わる。信頼関係が構築できるか否かも会話次第、言葉ひとつで誤解が生じると、その溝が深まることもあり得る。

そして、会話を通じて人は社会に参加する。そのとき、心遣いのある会話ができるかがとても大切である。それは、お互いの表情が分かる会話となおさらである。心遣いのある会話をどのようにするか、今の時代だからこそとても大切なことだと思う。

技術の進歩とともに生活のスタイルが変容し、スマホなどの便利なツールが世に溢れた時代だが、人が本来の人間らしさを呼び起こし、まわりを幸せにするためにも、お互い顔を見て思いを伝える会話、そこに心遣いを重ねたいと思う。ぜひとも今年の心がけとしたい。

「春キャベツの美味しさ」

教頭 倉原 浩二



夜明け前、朝靄もやのたれこめた三隈川沿いを歩いていると、羽を休めた水鳥が颯爽(さつそう)と水面を飛び立ち、空を優雅に舞う姿を見かけることがあります。日が昇り、ほのかに赤みをさした空を、透明な冷気を切り裂くように飛ぶその凜とした姿は神々(こうこう)しく、川のせせらぎの音を聴きながら眺めるその光景はまさに壮観です。

尽きることなく流れる川に、悠久の時を感じたからでしょうか。ある時、大学1年次の「人間学」の講義初日の「宇宙歴史」の話を思い出しました。「宇宙歴史」とは、宇宙が誕生したと言われる137億年前から現在までを「1年」と仮定する曆で、宇宙歴史では、地球が誕生したのは10月31日、人類が生まれたのは何と12月31日の夜10時36分すぎになるそうです。

何とも気が遠くなる話ですが、みなさんは10年、20年後の「未来」を考えたときに「自分はどの先どうなるんだろう?」と不安に思ったことはないでしょうか? そんな人にはアラン・ケイという人の「未来を予測する最良の方法は、その未来を創り出すことだ」という言葉を贈ります。

未来を不安に思う必要はないのです。「本当の自分」を探すのではなく、「なりたい自分になる」ために、圧倒的な努力を継続することで、「なりたい自分になってしまおう」のです。要は「ここまで努力して駄目ならしょうがないな」というレベルの努力を今、楽しめているか、ということですね。

紙数が尽きたので、続きの話と春キャベツの美味しさの話は授業でね。

「正師を得ざれば、

学ばざるにしかず」
(曹洞宗開祖道元禪師)

一年学級担任 小野 栄昭



正しい師に会わなければ、学ばないほうがよい。

人生は師を探す旅。良き師に出会うチャンスも自分次第。良き師に出会っても自分にアテンナが立ってないと見過ごしてしまう。

今年一年が皆さんにとって素晴らしい年でありませうように。



「必笑」

二年学級担任兼特別活動主任

清竹 久美香



人生「必笑」で楽しむ！

これは、私が今年の年賀状に書いた言葉です。この日田定時制になるまでの私の人生は、常に勝負の世界で「必勝」を追い求めて道を歩んできました。

そんな私がいまなと出逢い今感じていることは、そのときそのときの素敵な出逢いの中で、喜びのときがあり、悲しみのときがあり、人はそれを受け止めて人生をつくってゆくのだと。だったら「勝ち負けも含めて、どんな時も楽しく笑って生きていこう」と思っています。

生きている、生かされている、その意味があつて今がある。悩むこともあるし、辛いこともある。だからこそ、楽しむことを積極的に、思いつきり今を生きよう！「必笑」！

では最後に、年賀状の続きのメッセージを送ります。

申年は「さ」ち多かれと祈る「年、笑顔も夢も幸せも…たくさんの花咲きますように☆

((自分らしい花を咲かせるので「さる」))

ウッキッキー

笑

「面倒くさいの解消法…」

一・二年学級副担任兼生徒指導主任・
人権教育主任 藤原 耕一



今回は私の経験談をもとに書いてみました。

みなさんは何か行つたときに「面倒くさい」と思うことがありますか？ 私は昨年11月に体調を壊し、病院に何度も行くなどいやな思いをしました。

その時、主治医から運動を勧められ、出勤前にウォーキングをすることにしました。しかし、ウォーキングの前に必ず「面倒くさい」という思いが出てきて、一度思うとその気持ちはだんだん大きくなり(ネガティブな考えしかでない)、やる気が上がってくる事はほとんど無くなり1週間程度でやめてしまいました。

そこで、面倒くさいの解消法を調べたところ、「面倒なことをやり始められない時には、『何も考えない』という言葉を心の中で唱えながら取り掛かると魔法にかかったように面倒くさいが無くなる」と書いていたので実践してみました。確かに効果がありました。

それ以来、私は「面倒くさい」と思ったら「何も考えない」という言葉を唱えてながら取り掛かるようにしています。みなさんも是非、「登校時に靴を下足箱に入れるのが面倒くさい」と思ったら「何も考えない」という言葉を心の中で何度も唱えながら、下足箱に靴を入れてみてください。その効果がすぐに現れると思います。試してみてください。

今年一年を通じて「面倒くさい」という気持ちを自分でコントロールできる人になれるように、お互いに頑張っていきましょう。



「一緒に勉強しようよ」

三年学級担任 阪口 文美



我が家の次男坊にとって、学校での出来事を親に報告することは、小学生の頃からの日課(ルーティン)となっていて、私たちも「今日はどんな事件があったんだろうか」と聞くことを楽しみにしている。

先日、学力テストを終えて帰宅した日のこと。勉強が苦手なテストの成績もあまり良くない息子が「今日の数学のテストは楽しかった」と。「どうして？」と父親。「父さんと一緒に勉強した因数分解の問題があって、……」とうれしそうに、楽しかった理由を説明してくれた。今までは、問題の意味や解き方が全くわからず、テスト中に行うことがなくて、ただ終了時間を待つことが辛かった。でも、今日の数学のテストは、最後まで問題を解くことに取り組めて楽しかったそうだ。

定時制での英語のテストでも、息子と同じ辛さを経験している人がいるはず。テストが楽しくなるように、2016年、一緒に英語を「ツツツ勉強しませんか。」授業中することがなくて暇だ」とスマホを見ているアナタ、先生の顔を見ながら話を聴いてみませんか。

イギリスの探検家ラボックの言葉『他人と比較して、他人が自分より優れていたとしても、それは恥ではない。しかし、去年の自分より今年の自分が優れていないのは、立派な恥だ』にあるように、2016年は勉強してちょっと立派な自分になりませんか。



「変えられることを変える。」

変えられることのできないものを受け入れる」

四年学級担任 三浦 和子



「変えられることを変える勇気を
変えられることのできないものを受け入れる平静な心を
そしてそれらを見分ける知恵を与えたまえ」

― 平静の祈り ―

あるとき、1冊の本を読んで目に入った言葉です。

ちょうど、シルヴィ・ギエムというひとりのダンサーの舞台を見た後で、すっと心に落ちたのだと思います。

彼女は40歳で終わりと言われるバレエの世界で50歳まで現役を続け、そして自ら2015年12月末の日本公演を最後にダンサー人生に幕を下ろしました。

詳細は省きますが、彼女の、ピークを過ぎた身体を認めること、38年間のバレエ人生を終えて次に進む決断をすること、それらの一連の行動がこの言葉と重なりました。

変わらずに続けること、終わること、新たに始めること、そんな流れの中で私たちも日々暮らしており、今、1年間の集大成である3学期を迎えます。そして、新しい始まりの4月はすぐそこです。

変化を起こしてみませんか。



「今年はどうな年か」

三・四年学級副担任兼進路指導主任・
総務主任 水谷 昌弘



年明けにマジックの弟おとうと(弟子)でしから「今年はどうな年にしますか」と聞かれたが、特に考えていなくて恥ずかしかった。

弟弟子は自分のマジックバーの音響を替える、英語を勉強して英語でマジックをするなどと言っている。福岡のテレビ局から番組のコメンテーターのオファーもあったらしい。私はいつも冗談で「みやき町の町長になれる」とか「筑紫野市長になれる(彼は筑紫野在住なので)」というのだが、半分は本気だ。彼ならやれると思う。マジックの世界のみ突き詰めず、いろいろやってもらいたいと思っている。

私はどうとマジックで大切なものは何かともいつも考える。不思議な現象を見せるわけだが、相手が見たいことを見せれるのが一番いいハト出しがうけるのはそういうことだろう。あとはそのマジシャンのマジックが見たいかである。最後は人柄ということか、確かにマジック師さんのマジックは見たいと思うので。



「チャンス」

5年担任 添田 章裕



信頼を築き上げるには時間がかかり、信頼を失うのは一瞬である」という言葉がありですが、果たしてそうなのでしようか。私は、一瞬で失ってしまうものは信頼とはいえず、強い風に吹かれても、枝が折れることなく、しなるようなものが、本当の意味での信頼と考えます。

人が信頼を失ったと思うことの多くは、信頼を築く「チャンス」を失ったのです。ただ、チャンスは1度ではありません。チャンスは数多くあり、99個失っても、1つをモノにすれば良いのです。また、チャンスを失ったときに、なぜ失ったのかと考え、反省することが、次のチャンスをモノにすることにつながると思います。

さあ、1年が始まります！みなさんにも、信頼に限らず、いろいろなチャンスが巡ってきます。すべてをモノにしようとする必要はありません。その中の1つをものに出来るように努力しましょう。みなさんにとって良い1年になりますように。

今のチャンス

「新春メッセージ」

教務主任 中島 健吾



明けましておめでとーございます。

今年(申(さる)年)です。「申」は甲骨文字ではいなずまを描いた象形文字で、「手でまっすぐ伸ばす」という意味を表します。何となく飛躍が予感できる年だとは思いませんか？

また、「申」に「心」がつくと「思」になります(少し強引ですが)。ぜひ、「今年(申)はこれだけはやるぞー」という「思いを伸ばして信念に」、「力を伸ばして実力に」してください。

今年が皆さんにとって、夢のかなう、夢に近づく一年となることを願っています。

「申年」の今年、次の「三つ葉」を
肝に銘じたいと思っています。

ゆるがざる信念
たゆまざる努力
忘れざる感謝の心



「今年目標を持つ」
家庭科 吉岡 紀江



生徒のみんなには「目標、夢を持つ」とういふ言いながら自分に關して言えれば目標を持たずに日々過ごして来たような気がします。考えても浮かないし……と逃げていたような気がします。

大きな目標でなくてもいいから今年こそは。と思い、まず一文字で目標を決めました。

今年の目標は「勝」としました。年齢に勝つ、五十肩の痛みを勝つ(笑)、暑さ寒さに勝つ、といった具合に些細なことに目標を立ててみました。皆さんも小さな事から目標を立ててみてはどうでしょう。

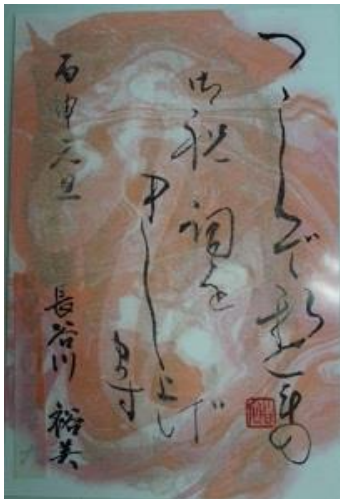


「筆文字の年賀状」
芸術科(書道) 長谷川 裕美



毎年、年賀状は手書きにこだわり作っています。新年はじめのご挨拶、ご縁のある大事な皆さんへ心を込めて。今年は、干支の「申」の篆書の文字を白抜き文字で下地に入れ上に賀詞(お祝いの言葉)を置きました。

作る時は「苦」がありますが、やり出すと「楽」に転じて夢中になります。



今年もどうぞ宜しくお願いいたします!!

「土づくりの一年に」
保健体育科 黒瀬 舜介



新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひします。私にとって2015年は教員生活1年目ということもあり、とても印象深い1年になりました。

日田という慣れない土地で教員生活がスタートし、右も左も分からない学校現場でたくさん先生の生徒に支えられながら、エネルギーと元気だけは忘れずに一日一日を乗り越えてきました。

何も考えず勢いのみで教員生活を送ってきていますが、そんな私にも座右の銘としていた言葉があります。それは「花よりも、花を咲かせる土になれ」という言葉です。これはある有名な高校野球監督の名言として本に載っていました。

「若い子は、花になりたいんです。でも、花だって根っこがしっかりとしないと腐ってしまう。高校野球は根っこづくり。だから、僕は言うんです。『花よりも、花を咲かせる土になれ』とね」

2015年は私にとって、土になれた年だと思っています。しかし、まだ雑草しか生えないような土です。だからこそ、この2016年は少しでも栄養のある土になれるよう多くのことを学び、吸収できる1年にしたいと思っています。

皆さんもこの1年を自分という花を咲かせるための土づくり、そして根っこづくりに費やす年にしてみてはいかがでしょう。努力すればきつと素敵な土となり、根となり、そして綺麗な花を咲かせることができると思います。

皆さんの成長を期待しています。共に頑張りましょう。

「2016年も

『がんばらない・他力本願・あきらめる』で」

養護教諭 奥山 恵理



今年もこの言葉を書こうと思ったのは、昨年この言葉を書いてから、しんどくてきつくて大変なのにそれでも頑張り続ける方、頑張って結果を出さないと生きる価値がないと思っっている方が、みなさんの中にも多いのかなと感じたからです。

「孤独だと思い込んで一人きりで頑張らないで、周りの方々に頼ってお願いして助けていただいて、そして人間は万能ではないことを知って、現実を明らかにして見極めた受け止める」ことができる、何かが変わっていくのではないかなと、私も日々実践中で、今年も心がけたいと思っっているところです。

頑張ることが得意な方も、苦手な方も、私自身は「頑張らず」に応援したいと思っっています。絶対いい1年になるに決まっています。

今年もどうぞよろしくお願ひします。



「新年を迎え今年目標」

事務室 池邊礼人



新年を迎え、私は、今年1年の目標を立てました。

私の今年1年の目標は、週3回以上の適度な運動と、食事を3食、規則的に食べることです。昨年、私は、最初のうちは毎日勤務後に30分以上散歩をしていましたが、それも長くは続きませんでした。食事の摂り方も毎日、不規則で、朝、昼食はず、給食を食べた後、夜、過食したりする事も多かったです。

その結果、体調もすぐれない事も多かったです。

皆さんも、新年を迎え、それぞれ今年1年の目標を立て、達成できるよう日々頑張ります。



【耕不尽】

◇年末年始
暖かい日が続きました。去年は雪でしたね。

◇餅つき
自動車工場の空きスペースで餅つきをしていました。ちよっと見ていたので食べたい人と思われたかな。

◇読書のすすめ
最近、本を読んでないな、とつくづく思います。

◇羽毛布団買いました。
いや軽いです。蹴飛ばしそう。蹴飛ばして、で、「掛けてないみたい」と。(苦笑)

◇年末年始
嵐の二宮君のドラマ二つ見ました。どちらも難しい役どころをさらっとやってみせてくれましたね。

◇
前回、清竹先生が書かれていたゴルゴさんの本が出版されました。映像もお勧めです。

◇金婚式
父母が金婚式を迎えました。50年一緒！どなたか祝い方をお教えてください。

(水)

